

# 堆肥の利用促進に向けた新しい肥料

～散布しやすいペレット化&成分調整機能を追加した

「混合堆肥複合肥料」の作製～

宮城県畜産試験場 草地飼料部

## 背景・課題

- 土づくりや化学肥料使用量低減のため堆肥利用が必要
- 耕種農家は以下の理由により堆肥が十分活用されていない
  - ① 堆肥と化学肥料の2回の散布が必要
  - ② 堆肥の容積大、保管性・運搬性が劣る
  - ③ 専用散布機械(マニアスプレッター)が必要
  - ④ 化学肥料より成分不安定・含量が低く、単位面積当たり施用量が多くなる
- 堆肥の利用促進のため新しい肥料の作製が必要。

## 対応策

- 有機センターやホームセンター等の市販堆肥と化学肥料をツインダイス式造粒機でペレット状に混合・造粒し、混合堆肥複合肥料を作製

### ● 作製した肥料の特徴

- ① 土づくりと施肥を1度に(省力化)
- ② ペレット状に造粒し、従来の堆肥より容積を小さくし、保管性や運搬性が向上
- ③ 耕種農家の多くが所有する機械(ブロードキャスター)で散布可能  
(機械作業に耐えられる硬度)
- ④ 堆肥の成分不足を化学肥料で補い成分が安定

## 混合堆肥複合肥料のペレット化の工程



① 肥料原料



② 混合



③ 造粒 (ツインダイス式ペレットマシン)



④ 乾燥(90°C10分以上)

⑤ 放  
冷

⑥ ふ  
る  
い  
分  
け



⑦ 製品 (ペレット肥料)